

読賣新聞

4 国際経済 7
 8 9 経済 10 11
 10 12 13 解説 14
 ・学び 16 17 27
 ーツ 20 21
 将棋 12 小説 16

電話(03)715-4211(代) www.yomiuri.co.jp

13 S 経済 10

九州経済白書

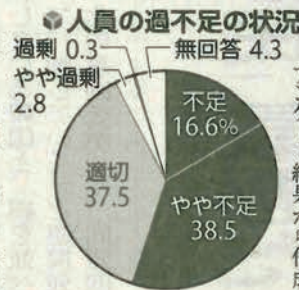
人材枯渇時代へ提言

働き方変革やロボ導入

九州経済調査協会(福岡市)は2日、2017年版の九州経済白書を発表した。テーマは「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」。人口減少に伴う働き手不足を見据え、地域経済の成長には、働き方の変革やロボットの導入など、生産性を高めるための意識改革や体質改善が企業経営者らに求められると提案した。

白書では、九経調が昨秋に九州・沖縄・山口の企業などを対象に実施した調査(有効回答741件)で、55・1%が人員に不足感があると答えたことを紹介。

景況感などのデータを基に、昨今の人手不足はバブル景気時と異なり、中長期的な人口減少などの構造変化が要因だと分析した。さらに、このまま労働力



化したり、人手不足による倒産や廃業が増えたりする恐れがあると警鐘を鳴らした。

一方、「量的・質的な掘り起こしの余地が大きい労働力はまだ残されている」として、女性や高齢者、出身地域以外にイターンする人、外国人などに焦点を当て、企業の取り組みを紹介。ロボットや人工知能(AI)を活用していくことも急務だと強調した。

今後は、企業が時代や実情に応じた生産性の向上と働き方の転換で人材枯渇を克服し、「稼働力」を持った九州経済への体質改善ができれば、全国でも模範になるようにしている。インテリアコーディネーターの安藤ユミさん(51)は「母の看病をしていた際も、何かあるとすぐ休ませてくれた」と語る。

女性の視点を生かした提案が好評で、人材定着によりノウハウも向上。16年7月期の売上高は2億3000万円となり、17年7月期は5億円を見込む。籠田淳子社長(51)は「ワーク・ライフ・バランスは経営戦略。今後も建設業界で女性の力を発揮させていきたい」と話している。



図面を広げ、籠田社長(左から3人目)と打ち合わせる社員たち(北九州小倉北区のゼムケンサービス)

ワークシェアで女性活躍

北九州の設計・施工会社 育児と両立

九経調が2017年版の白書で、多様な人材の活用例として挙げた一例は、店舗などの設計・施工を担う「ゼムケンサービス」(北九州小倉北区)だ。女性社員らが育児などと両立できるように、1件の仕事を2、3人で共有(シェア)する「ワークシェアリング」で柔軟な働き方を導入し、成長につなげている。

社員8人のうち女性は6人。案件ごとにチームを組み、発注先の需要や作業の進み具合などを共有して、1人が不在でもフォローで

きるようにしている。インテリアコーディネーターの安藤ユミさん(51)は「母の看病をしていた際も、何かあるとすぐ休ませてくれた」と語る。

女性の視点を生かした提案が好評で、人材定着によりノウハウも向上。16年7月期の売上高は2億3000万円となり、17年7月期は5億円を見込む。籠田淳子社長(51)は「ワーク・ライフ・バランスは経営戦略。今後も建設業界で女性の力を発揮させていきたい」と話している。

なり得ると結論つけた。

国立社会保障・人口問題研究所の推計(国勢調査ベース)によると、九州・沖縄・山口の総人口は2010年の計約1605万人から、40年には約1301万人まで減る。このため、経済規模の縮小や地域の衰退などが懸念されている。

大分製鉄所火災 損失額は300億円

新日鉄住金の火災
新日鉄住金の火災

三菱重工 16年4〜12月期 M

三菱重工が2日発表した2016年4〜12月期連結決算は、税引き後利益が112億円の赤字(前年同期は533億円の黒字)だった。円高が進んで輸出の採算が悪化したほか、ジェット旅客機「MRJ」(三菱リージョナルジェット)の5度目の納入延期に伴う開発費増加などが響いた。売上高は4・9%減の2兆6942億円、本業の増減を示す営業利益は63・1%減の684億円だった。